

懸田弘訓先生と観る

岡山の水かけ祭り

2017.
10月22日(日)

時間：10:00 (集合 9:20) ~ 16:30 (解散 17:00 予定)

会場：じょーもぴあ宮畑 / 鹿島神社

参加費：3,000円 (学生1,000円) 昼食・送迎バス付

定員：50名 **事前申し込み制** ※定員になり次第募集を締め切ります。

- 9:20 ~ 福島駅西口 バス乗り場集合
- 9:30 ~ 出発~じょーもぴあ宮畑へ
- 10:00 ~ 座学 第1部「水かけ祭りの縁起や歴史を学ぶ DVD 鑑賞」
第2部「懸田弘訓氏に学ぶ祭礼の愉しみ方」
- 11:15 ~ 昼食 (お弁当)
- 12:00 ~ 昼食後バスで鹿島神社へ
- 12:20 ~ 御神輿と共に頭前の家へ移動 神楽見学
◎随時懸田先生のご解説をいただきます
- 13:50 ~ 神社に戻り「水かけ」開始 ~自由見学~
- 15:30 ~ 御神体の引継ぎ 新頭前宅へ移動~見学
- 16:30 ~ 鹿島神社 バス出発
- 17:00 ~ 福島駅西口 解散

案内人



かけた ひろのり
懸田 弘訓 氏

平成26年度福島県高等学校文化連盟写真部門 県北支部写真展 最優秀作品
タイトル『祭り』 撮影者：宍戸凌 (ししどりよう)



主催：未来の祀りふくしま実行委員会

〒960-8068 福島県福島市太田町 27-21 NPO 法人うつくしまランチ内

<http://www.mirainomatsuri-fukushima.jp/cafe/>

TEL024-536-3103

後援：福島県 福島市 福島市教育委員会



福島県地域創生総合支援事業
(サポート事業) 補助対象事業

福島県指定重要無形民俗文化財（昭和57年3月30日指定）

岡山の水かけ祭とは

鹿島神社で秋の祭礼として10月の第4日曜日に行われるこの祭りは、頭前（祭礼の主宰者）を7組の氏子から順回りに選出する頭屋制をよく守り伝え、古来800年余の伝統を有している。

祭礼当日には、社殿で祭式を執り行って御神体を神輿に移し、頭前の家まで渡御する。頭前の家では祭式に続いて神楽を二座舞い、再び神社に戻り水祝いを行う。水屋には氏子総代。中老・世話人が着座し、謡曲「高砂」を謡い、神酒2献が回ると水かけになる。

境内では、若者が大桶と小桶に水を入れて待つ。氏子総代と若者の「水だー」の掛け声で一斉に水かけが始まり、水屋からも応戦する。世話人が切り餅をまき、水がなくなると頭前や杜氏新婚などが藁と一緒に大桶に入れられ、万歳三唱をし水祝いは終了する。

水祝いが終わると、水屋で新旧の両頭前が、三三九度の盃を交わし、御神体を引き継ぐ。新頭前は御神体を自宅の神棚に安置して、これから1年間、供物を供えて奉仕する。

この祭りは、東北地方に少ない頭屋制が継承され、若者の組織も維持されているところに高い価値がある。

頭屋（とうや）とは、神社や講において行われる祭礼や神事などの行事の執行に関して、中心的な役割を果たす人もしくは家。当屋・袴屋・当家などの表記が行われる場合もある。

懸田弘訓先生と観る

岡山の水かけ祭

案内人

かけた ひろのり

懸田 弘訓

（民俗芸能学会ふくしま調査団長）



昭和12年伊達市霊山町生まれ。福島大学卒。県立高校、県教育庁文化課勤務後、県立博物館学芸課長、県立川口高校校長などを歴任。

現在、県文化財保護審議会委員、会津大学非常勤講師、民俗芸能学会評議員。

特に、東日本大震災後は、民俗芸能学会福島調査団長として被災地に赴き、民俗芸能保存団体の被災状況や要望を取りまとめ、国・県の補助金や民間支援団体からの助成が受けられるよう、献身的な支援に取り組んでいる。

参加お申し込み書

- ◎境内にてお神酒（どぶろく）が振る舞われますので戴く方は送迎バスをご利用ください。
- ◎鹿島神社～氏子宅まで等は徒歩移動となりますので歩きやすい靴でお越しください。
- ◎昼食、バス手配の都合上、当日キャンセルの場合は参加費を徴収させていただきますのでご了承ください。
- ◎当日の天候に合わせた雨具、防寒着等は各自ご準備ください。

ご氏名	ご連絡先電話番号	ご返信先FAX番号	年齢	バス乗車
				する / しない
				する / しない
				する / しない

上記を記入しFAXでお申し込みいただくか、WEBサイトのお申し込みフォームをお使いください。
定員（50名）になり次第受付を終了いたします。ご了承ください。



ふくしまから
はじめよう。

福島県地域創生総合支援事業
（サポート事業）補助対象事業

未来の祀りふくしま実行委員会

FAX 024-536-3090

